

研究機関：広島大学

研究課題名	転院時の医師と薬剤師による薬剤に関する診療情報提供内容の調査
研究責任者名	広島大学 病院薬剤部 教授 松尾 裕彰
研究期間	倫理委員会承認後～2025年3月31日
対象者	2020年1月1日～2024年10月31日の期間に当院に転入・転退した患者さん
意義・目的	<p>当院は急性期病院である事から、症状が落ち着けば転院となる患者さんも多くいらっしゃいます。転院時に不備となりやすい情報の患者背景・薬剤・不足内容を明確にすることで、転院後のより適切な薬剤継続・薬物治療評価に貢献することができ、医師の負担軽減及び他の医療機関との連携においても有益であるのではないかと考えています。また、薬剤管理サマリー等を用いて情報を薬剤師より発信することでより正確な情報提供ができていることを評価し、明らかにすることで、薬剤師が行うことの有用性・付加価値を示すことを目的としています。</p>
方法	<p>2020年1月1日～2024年10月31日の期間に当院に転入・転退した患者さんの転院時における医師の診療情報提供書及び薬剤師から情報提供したサマリー等の記載内容についてカルテ記載内容と比較し、検証します。使用する情報は、診療科・入院病棟・性別、身長、体重、体表面積、年齢・既往歴・現病歴・治療歴・入院日数・患者人数・薬歴・アレルギー、副作用歴・薬剤投与、服用状況、投与日数・薬剤師の介入内容・調剤方法・薬剤管理方法・投与経路・一般用医薬品・サプリメント・健康食品・転帰・重症度スコア・血液検査値（血算、生化学、凝固、血液ガス、血糖、血糖値、薬物血中濃度）・培養結果・体温・疼痛、睡眠・排便状況・転院先、転院元の情報提供内容（転院先・受診状況を含む）などです。（個人が特定出来る情報は転記しません）</p>
共同研究機関	該当なし
試料・情報の管理責任者	病院薬剤部 教授 松尾 裕彰
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5579 広島大学 病院薬剤部 薬剤師 嶋村 映美</p>